

土地改良施設整備事業 《産業振興課》

委員氏名	確認したい内容(希望する資料)	回 答
石田 委員長	開始事業年度	旧事業名 ○農業用排水路・農道整備事業 昭和45年 ○農業用排水路管理事業 不明 ○農業用水・農地管理システム事業 平成 8年 ○相模川左岸用水路維持管理事業 平成10年 現事業名は平成24年度開始
	委託先が企業である場合は、競争入札か？ 落札率は？	金額が低いことから競争入札ではなく3～4社の見積もり合わせになります。 予算の範囲内で請負っていただきます。
	各用水路の長さ	町の基幹水路の花川用水路は 4,529mです。 その他、各地区に用水路があります。代表的な用水路として 宮山用水路の延長が 2,097m 岡田用水路の延長が 1,470m 町内の用水路延長は 54,474mです。
	花川用水路の用水期間中は、いつからいつまで？	平成24年度においては、5月24日～9月20日です。 25年度においては、5月25日に通水しております。閉水は昨年同様9月20日を予定しています。
	農業用水の各農家の負担額、あるいは計算根拠	相模川左岸土地改良区が定めた額となります。 10アール当たり4,000円(4円/㎡)です。 算出根拠については、土地改良区の財政状況などから、適宜に定めている。
宮内 副委員長	町内の農家戸数と稲作農家戸数を教えていただきたい。	農家数315戸、稲作農家数91戸 (2010農業センサス)
	違反農地の是正等の指導を行っているが農業委員会との連携について教えていただきたい。	是正指導は農業委員会が行っています。現場に出る機会が多い産業振興課が得た情報を速やかに委員会に報告しております。産業振興課では主に、農地の土砂流出について、是正を促しています。
新木委員	左岸土地改良区、左岸幹線用水路とは何か分かる資料	(別添資料1)
	土地改良区が管理する農業施設等が何か分かる資料	(別添資料1)
生田委員	要望されている補修箇所は何箇所ですその予算化に必要な額は？	農道の路面補修や水路の沈下などの大規模な補修箇所が6箇所。水漏れや調節器の設置などの小規模な補修箇所が10箇所程度毎年要望として上がってきます。 必要額は数千万円に及ぶと考えます。
	最低限の対応でしのいでいる、とありますが基本協定違反では？	最低限の対応と記述した施設は、町が管理する施設に限るものであります。左岸幹線におきましては、協定書に基づきます。

	年度ごとに町内の違反農地の数と内容を提出してください。	違反農地の数は農業委員会で把握しており、数は別添のとおりです。 (別添資料2)
	県が実施する幹線水路工事負担額が24年度に比し増加した理由。	寒川町大蔵のサイホン流入部に遠隔操作が可能な水門を設置する工事を実施するため
吉田委員	農家の減少により、左岸幹線用水利用料が年々減少していると思われるが、過去数年の用水利用料の移動状況を知りたい。	25年度組合費賦課予算額 26,024,000円 24年度組合費賦課予算額 26,428,000円 23年度組合費賦課予算額 26,576,000円 22年度組合費賦課予算額 26,840,000円 21年度組合費賦課予算額 27,112,000円

相模川左岸土地改良区の概要



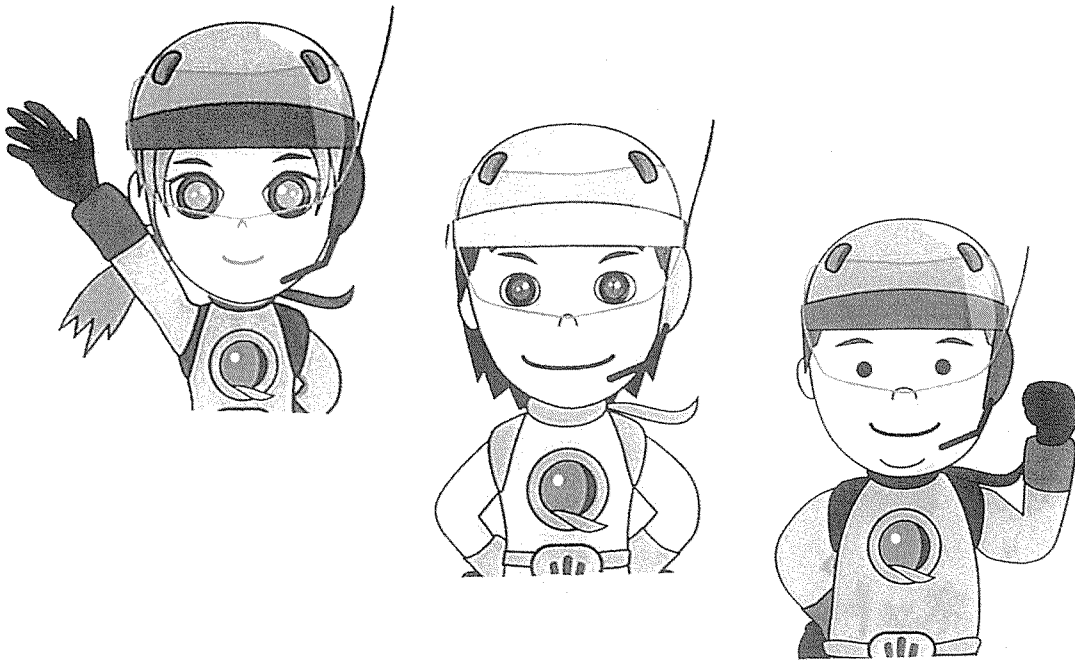
^み^ど^り
水 土 里 ネット と は

水…農業用水
土…農地、土地、土壌
里…農村空間、生活空間

目 次

1	名称及び所在地	1
2	設立年月日	1
3	目 的	1
4	沿 革	1
5	特 色	2
6	事 業	2
7	地区及び面積	2
8	組合員数及び地区総代・役員数	3
9	土地改良区の機構図	3
10	経費の賦課	4
11	平成23年度一般会計予算	4
12	神奈川県相模川左岸土地改良区の先駆者	5
13	歴代理事長	6

写 真



1 名称及び所在地

神奈川県相模川左岸土地改良区 (定款第2条)

神奈川県海老名市中新田3-35-1 (定款第5条)
神奈川県相模川左岸土地改良区2階

2 設立年月日

昭和5年8月 普通水利組合として発足。

昭和24年土地改良法施行に伴い

昭和27年7月28日 神奈川県相模川左岸土地改良区に組織変更。

認可番号 神第28号

3 目的

この土地改良区は、農業生産の基盤の整備及び開発を図り、もって農業の生産性の向上、農業総生産の増大、農業生産の選択的拡大及び農業構造の改善に資することを目的とする。

(定款第1条)

4 沿革

本土地改良区は、昭和5年、新磯町、座間町、海老名町、有馬村、寒川町、御所見村、小出村、茅ヶ崎町（現・相模原市、座間市、海老名市、寒川町、藤沢市、茅ヶ崎市）に及ぶ2,200ha余の水田にかんがいする用水路及び、排水施設の整備を目的とする県営相模川左岸用排水改良事業の施行にあたり、相模川左岸普通水利組合として発足。

昭和27年の土地改良法施行に伴い、神奈川県相模川左岸土地改良区に組織変更され、現在に至っている。

5 特 色

本土地改良区は、県央を南北に流れる相模川の左岸地区で、中央部をJR相模線が縦断し、茅ヶ崎・橋本間を結び、海老名市内で小田急線と交差し、海老名・横浜間を相模鉄道が往復する利便性のよい地域である。

近年急激な都市化が進む中で、水路上を遊歩道や公園化による緑の保全、地下水供給源や防火用水として、地域への役割は大きい。

昭和15年に完成した用水幹線水路による用水の安定供給を主体とする土地改良区である。

6 事 業

1 本土地改良区は、次の内容により事業を行っております。

この土地改良区は、土地改良事業計画、定款、規約及び管理規定の定めるところにより、次に掲げる土地改良事業を行う。

- 一、相模川、鳩川、目久尻川及び小出川から引水するかんがい施設及び相模川、鳩川貫抜川、永池川及び小出川への排水施設の維持管理
- 二、相模川左岸幹支線用水路及び幹線排水路の改修
- 三、相模川左岸幹支線用水路及び幹線用水路の災害復旧

(定款第4条)

2 事業年度

毎年4月1日から3月31日

7 地区及び面積

市町名	地目	面積 (m ²)	筆数
相模原市	田	584,364	1,036
座間市	〃	1,167,849	2,131
海老名市	〃	2,879,235	4,179
寒川町	〃	1,286,297	2,311
藤沢市	〃	119,904	300
茅ヶ崎市	〃	592,752	1,590
計		6,682,559	11,547

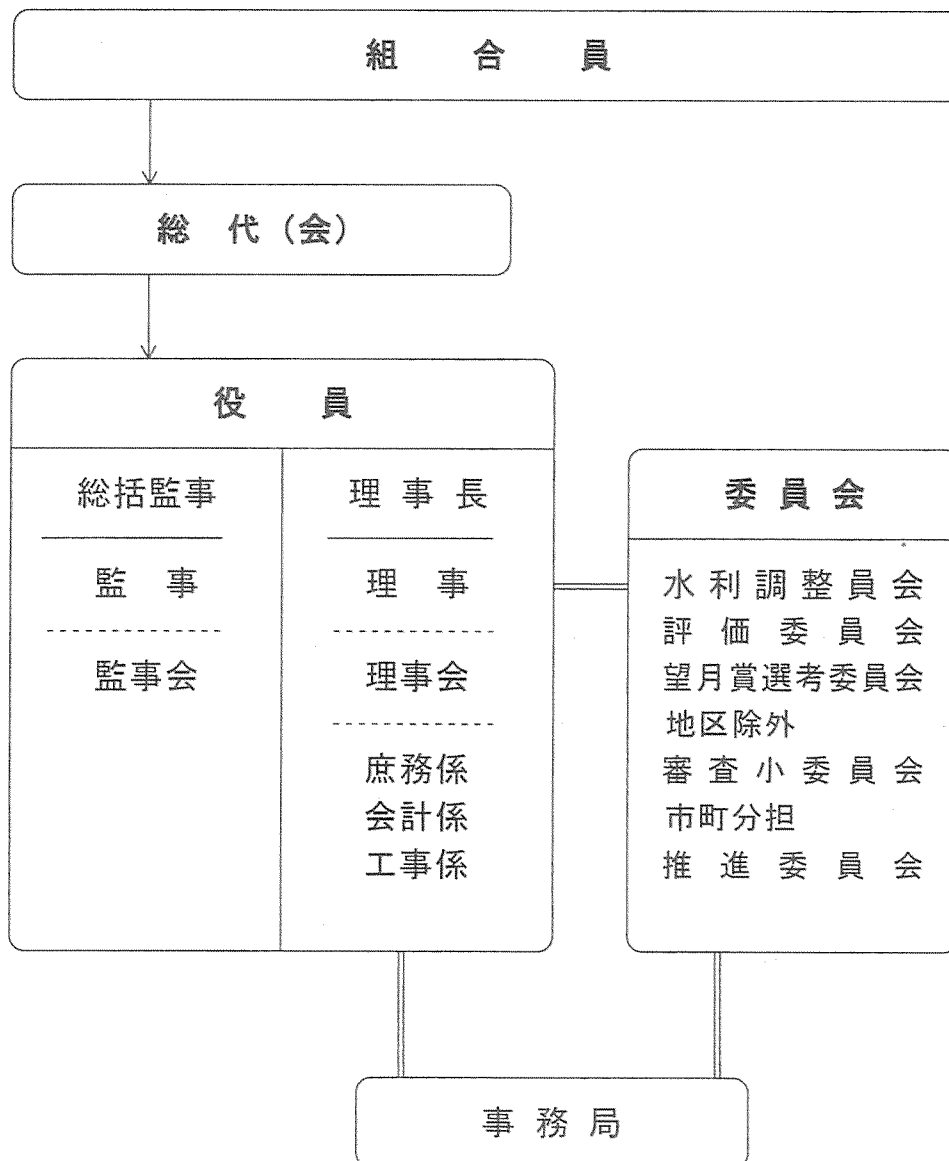
(平成23年4月1日現在)

8 組合員数及び地区総代・役員数

	組合員数	役員	総代	員外・顧問
相模原市	231	1	3	
座間市	461	2	7	1
海老名市	858	7	18	2
寒川町	530	4	10	
藤沢市	108	1	2	
茅ヶ崎市	430	3	13	1
受益地外居住	145			
	2,763	18	53	4

(平成23年4月1日現在)

9 土地改良区の機構図



10 経費の賦課

土地改良区の事業に要する経費と運営に要する経費を、原則として組合員の皆様に負担していただいております。(一部積立金と、県、市町からの補助金を充当しております。)

(土地改良法第36条要約)

賦課金の推移

年度	田	畑	面積	年度	田	畑	面積
昭和27	130	13	1反	昭和43	1,250	—	1反
28	230	23		45	1,500	—	
29	270	27		46	1,600	—	
30	300	30		48	1,400	—	10a
31	350	35		50	2,000	—	
36	450	45		55	2,500	—	
37	500	50		57	3,000	—	
38	700	70		平成3	4,000	—	
40	800	80					
41	1,000	250					
42	1,100	275					

決済金の額 1m²あたり120円・調査費及び手数料1m²あたり5円

11 平成23年度 一般会計予算

収入 114,843,000円 支出 114,843,000円

組合費	26,576,000
使用料	4,818,000
県補助金	8,172,000
市補助金	61,592,000
補償料	4,415,000
雑収入	4,670,000
繰入金	3,600,000
繰越金	1,000,000

事務費	24,520,000
事務所費	3,560,000
諸費	3,487,000
負担金	39,419,000
維持管理費	42,957,000
繰出金	400,000
予備費	500,000

12 水路の管理状況

・ 除草対策

管理用地に繁茂する雑草や雑木の撤去を行い、生えにくいようにしています。



葛に覆われてしまったフェンス（除草後）



葛の除去後、ツル草等が絡まないように水路天端から、コンクリートを打設



初期通水の様子
(溜まっていたゴミを押し流してきます)



大蔵サイフォンの塵芥除去作業の様子



本線水路に板堰を設置している所には、ゴミが溜まってしまいますので、日々の巡視で、ゴミの除去作業を行っております。

13 神奈川県相模川左岸土地改良区の先駆者



相模川左岸普通水利組合設立・初代管理者
望月珪治（1883～1969）

明治後期・大正・昭和期の海老名町長
高座郡河原口村（海老名市）に生まれる。

1889（明治32）年横浜中学卒業 29歳で海老名村助役に就任した。1914（大正3）年から1920年まで海老名村長として役場を新築 大正末期ころ現在の相模線・相鉄線・小田急線の誘致に尽力した。1928（昭和3）年から1946年まで連続海老名町長となる。この間、県町村会長、群農会長に推され、1930年8月近郷7か町村を結合して相模川左岸普通水利組合を設立し、かんがい用排水改良事業を完成させた。1941年11月県の相模川河水統制事業に関連し、海老名耕地整理組合結成し、組合長となり、相模湖底に沈む勝瀬からの移住に努力した。1956年5月レリーフ入りの顕彰碑が建立された。1969年（昭和44）年6月27日没。墓所は海老名市安養院。（海老名町教育委員会『郷土の資料』）



相模川左岸幹線用水路は、昭和3年より、県営相模川左岸用排水改良事業として始まり、事業費は、100万円余、9年余の歳月をかけ、相模原町磯部（現相模原市磯部）に頭首工をおき、茅ヶ崎に至約2.1km余のの幹線水路と、鳩川、貫抜、永池、千之川排水路が昭和15年に完成した。

昭和初期の経済不況で労力資材が不足している中、反対者も多かったのですが、水利組合の初代管理者でもあった当時の海老名村長望月珪治氏は、事業の効果を世に伝え用水路建設に尽力されました。

14 歴代理事長

	氏名	在任期間	備考
初代	井上近次	昭27.7.28～昭28.11.4	
二代	磯崎貞序	昭28.11.5～昭53.11.4	昭和39年春 黄綬褒章 昭和41年春 勲三等瑞宝章
三代	清水元平	昭53.11.5～昭57.11.4	昭和49年春 勲五等瑞宝章
四代	石川安一	昭57.11.5～平2.11.4	平成7年春 黄綬褒章
五代	尾山永吉	平2.11.5～平14.11.4	平成13年4月 勲五等瑞宝章
六代	武井平八郎	平14.11.5～平22.11.4	平成10年11月 勲五等雙光旭日章
七代	赤井光夫	平22.11.5～現在	



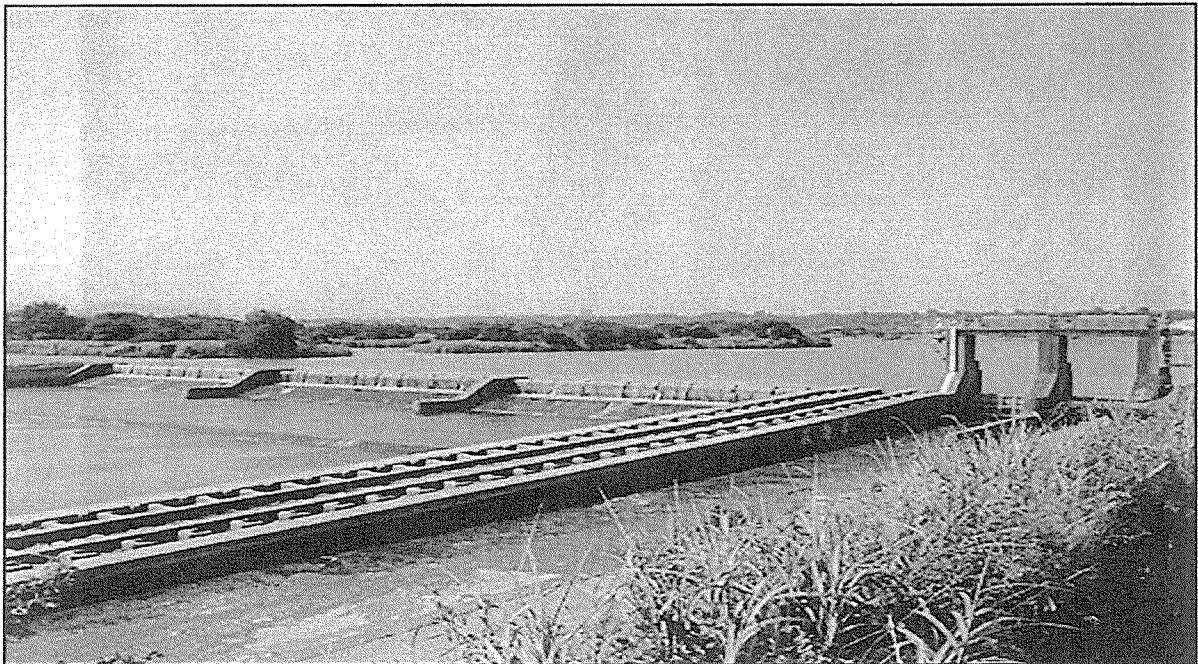
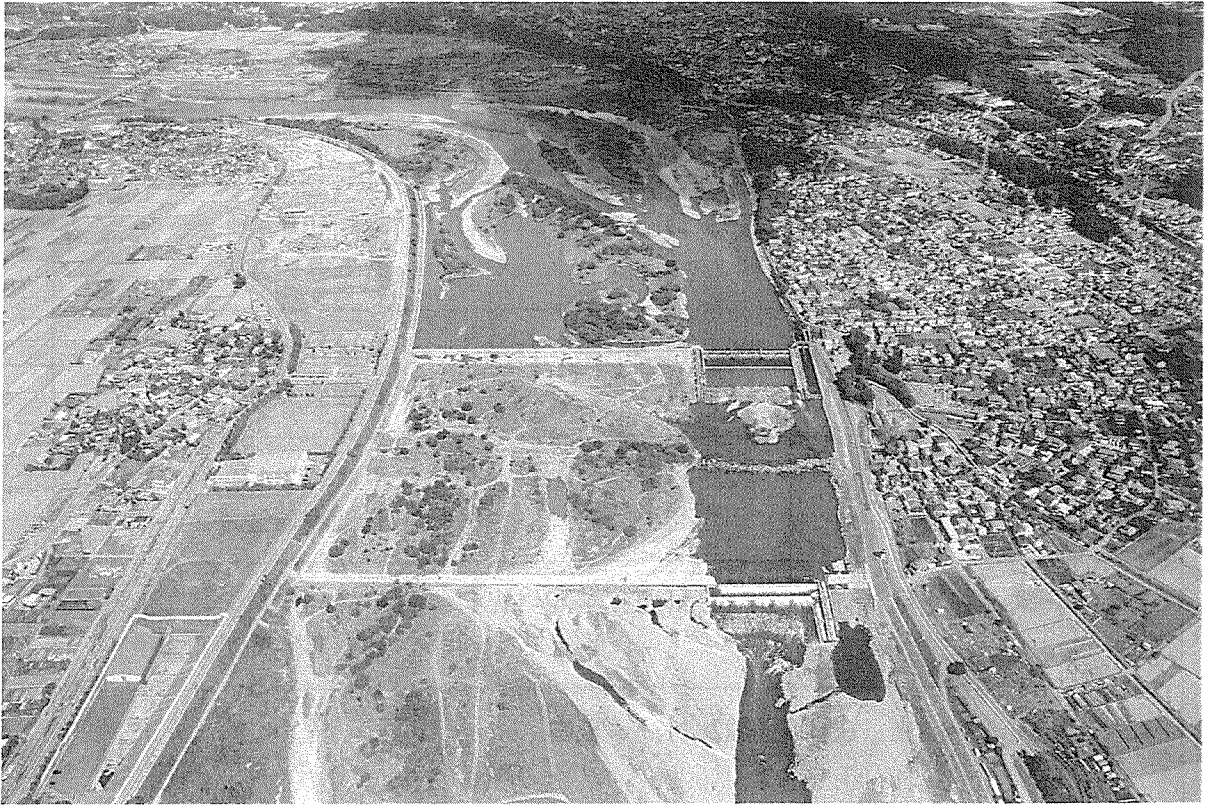
発足当時の役員（昭和10頃）

神奈川県相模川左岸土地改良区主要施設写真

磯部頭首工

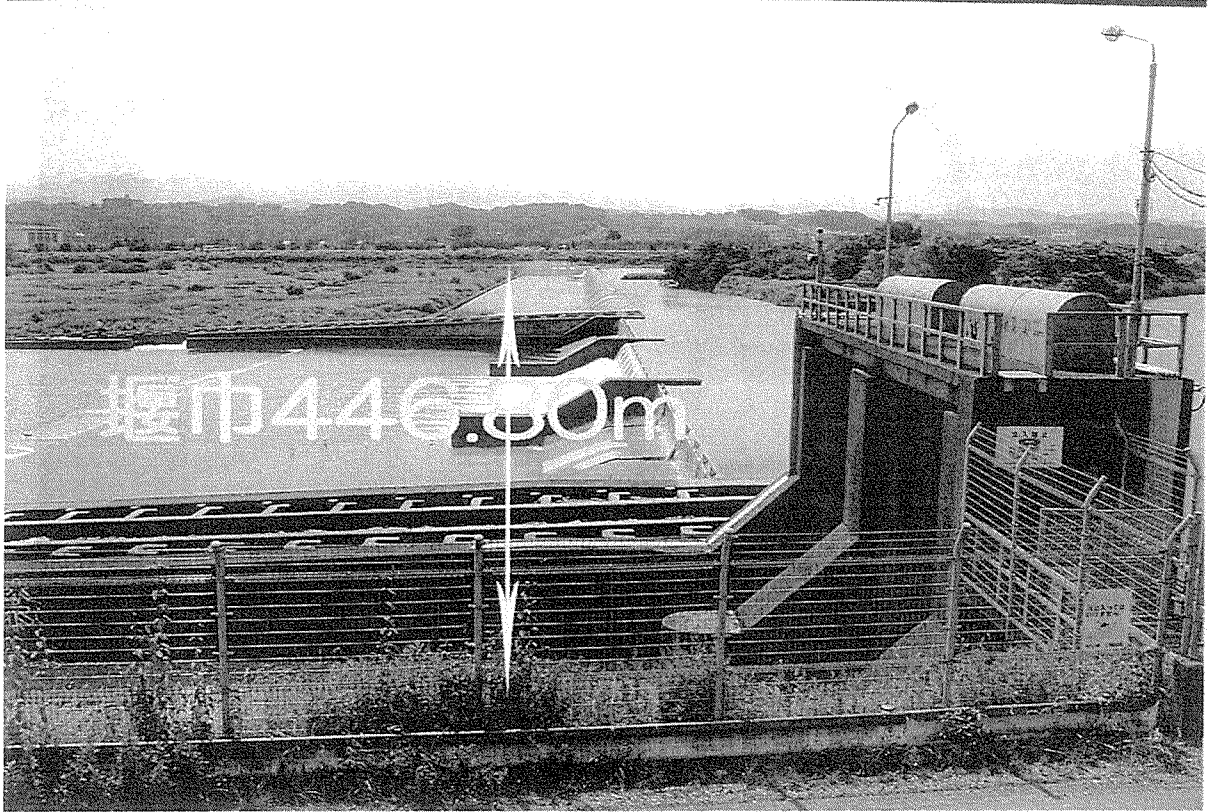
現相模川磯部堰土地改良区連合管理

(いそべ)

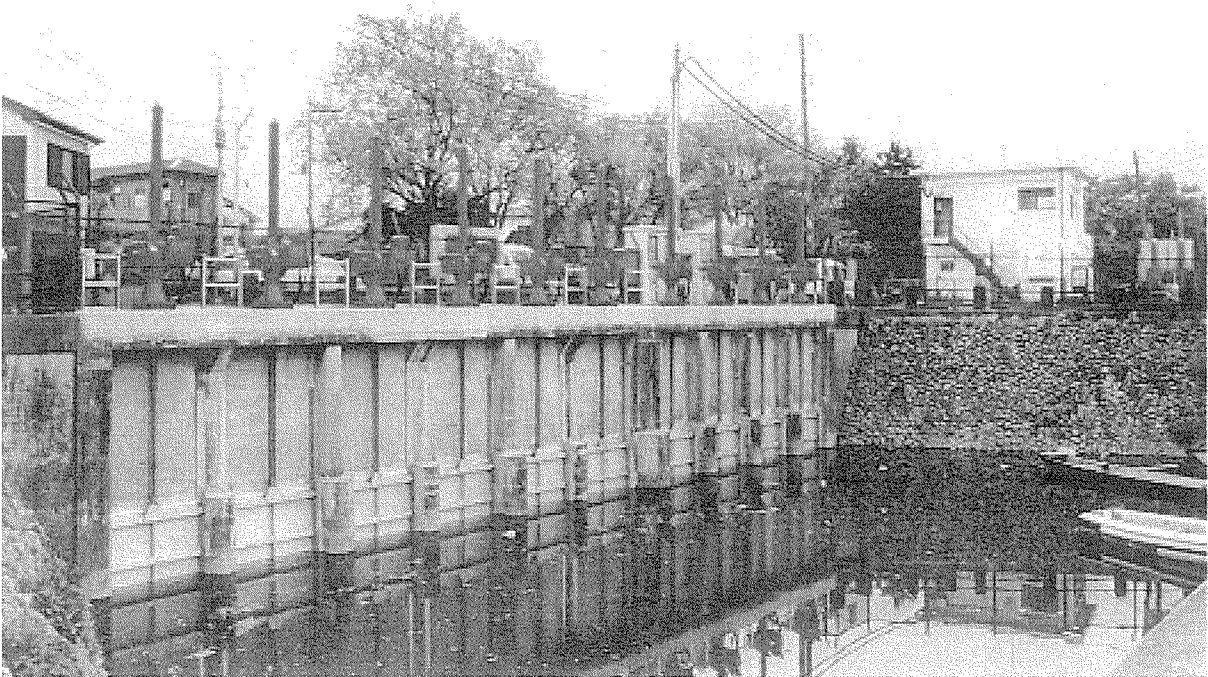


固定堰 313m、洪水吐94.8m、土砂吐21.1m
魚道 東側(手前)10.9m 西側(奥)7

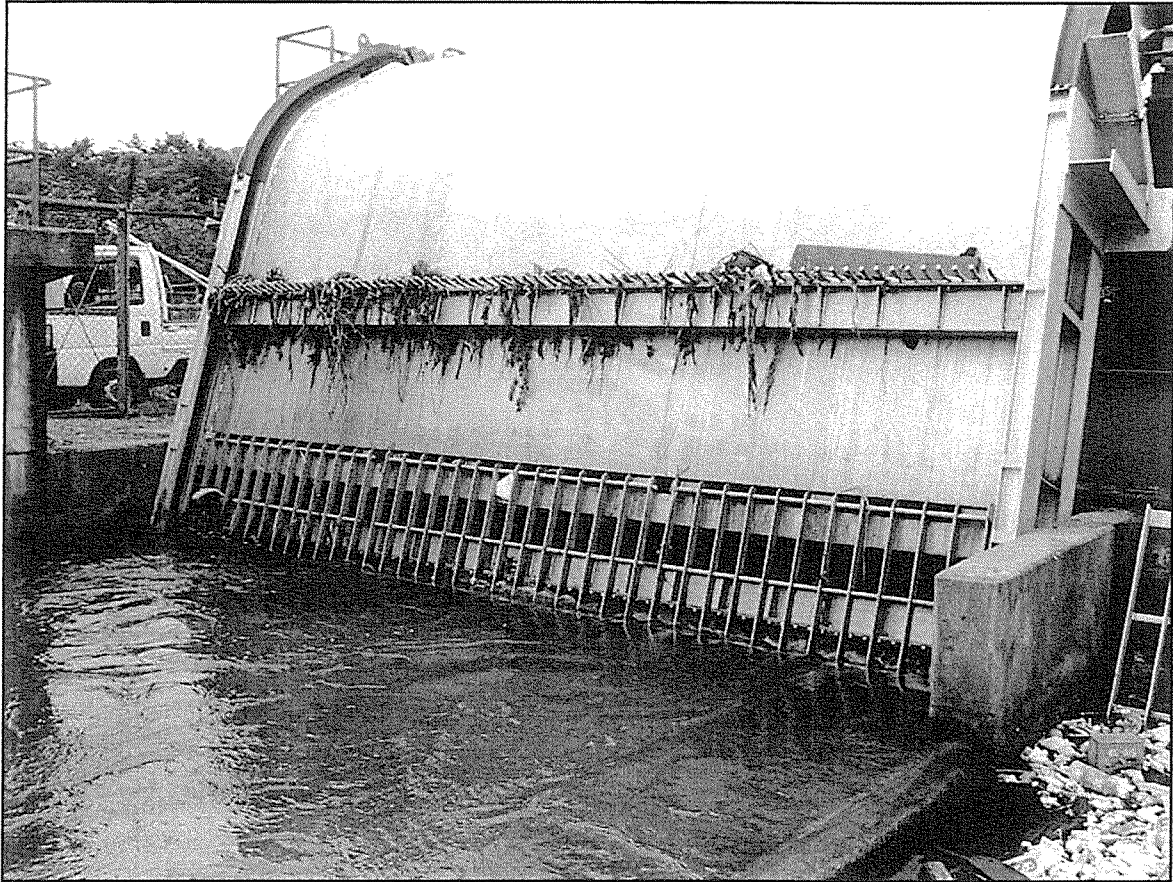
堰全景（東側から）



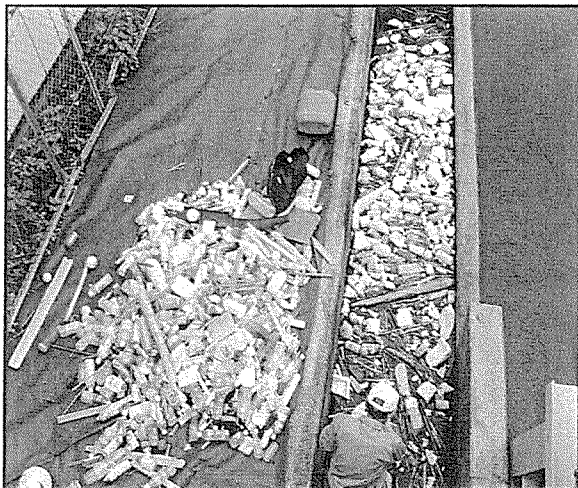
取水門全景



手前6門 相模川左岸土地改良区 相模原・座間・海老名・寒川・藤沢・茅ヶ崎
奥4門 相模川西部土地改良区 厚木・伊勢原・平塚



背面のゴミの様子



ペットボトルや木くずなど



座間市座間地内



海老名市上今泉地内



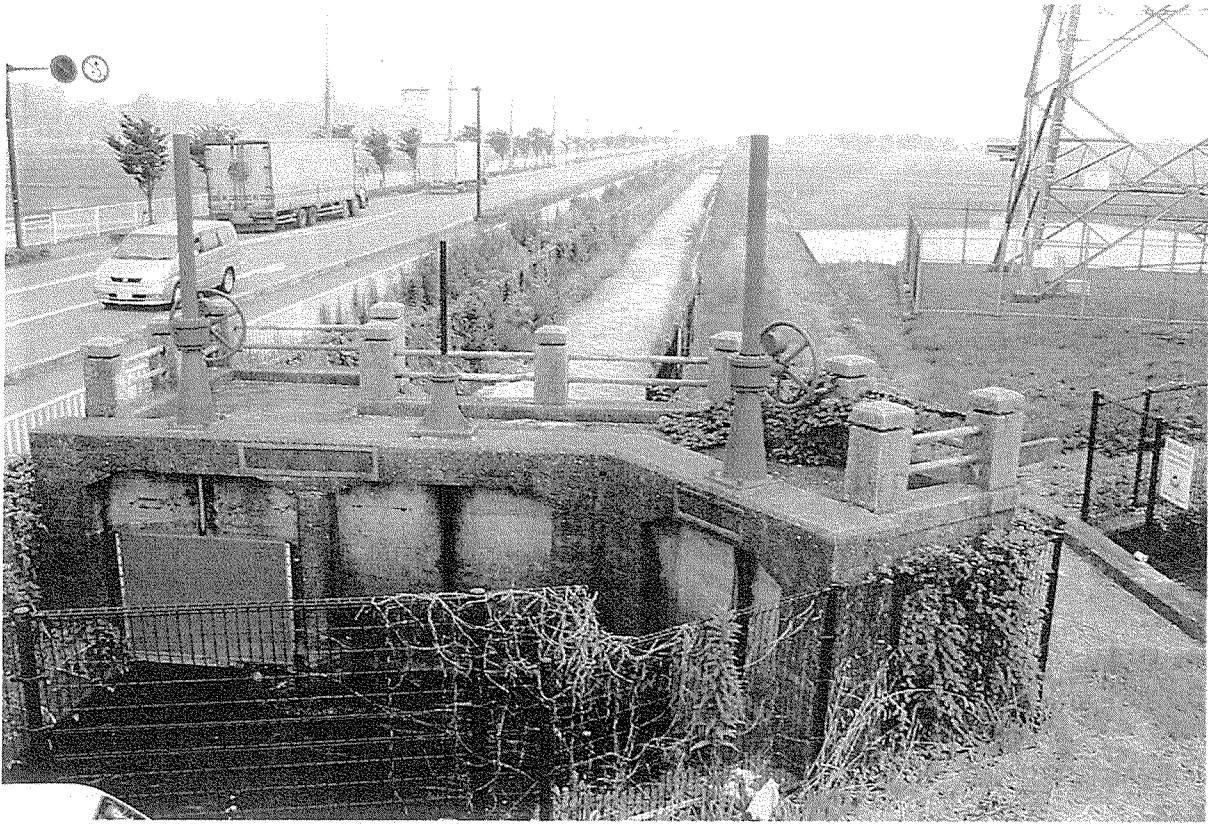
海老名市国分地内 海老名駅電車基地上流



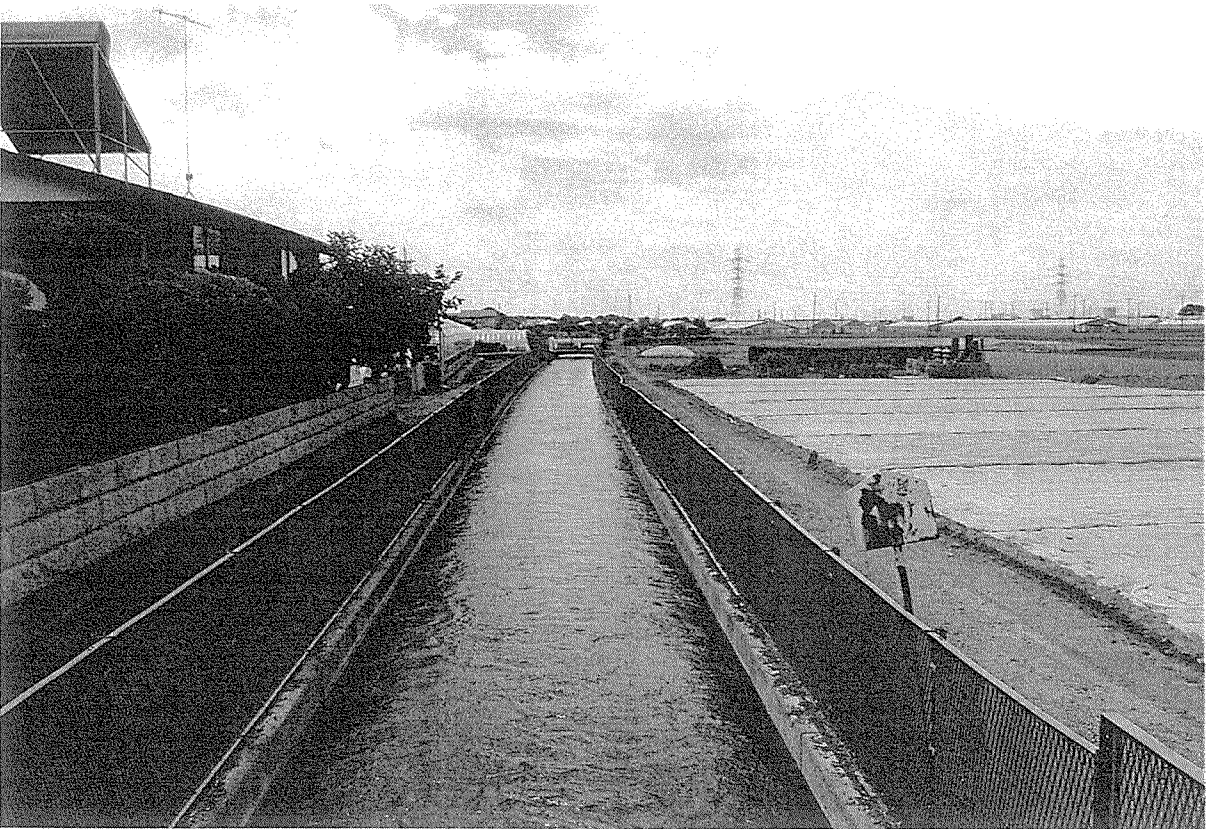
海老名市中央地内 海老名駅から



海老名市大谷地内から南を見た様子



海老名市上河内より南を見た様子



寒川町小動地内

掛樋水路 平成8年改修



寒川町大蔵地内

大蔵サイフォン流入口



茅ヶ崎市甘沼地内



茅ヶ崎市高田地内



用水路の活用



海老名市内案山子まつりの様子

用水路の管理地を使用して、地元雄志が案山子まつりを開催。地元小学校や幼稚園、老人ホームなどからも案山子が参加しており、NHK昼どき日本列島でも紹介されました。



当改良区も案山子作品の参加、水利組合賞の授与を行っております。



田んぼの生き物調査の一コマ

100人余の人に参加いただき、農業の大切さと恵を体感していただきました。

水路の活用（冬期通水・冬期湛水）

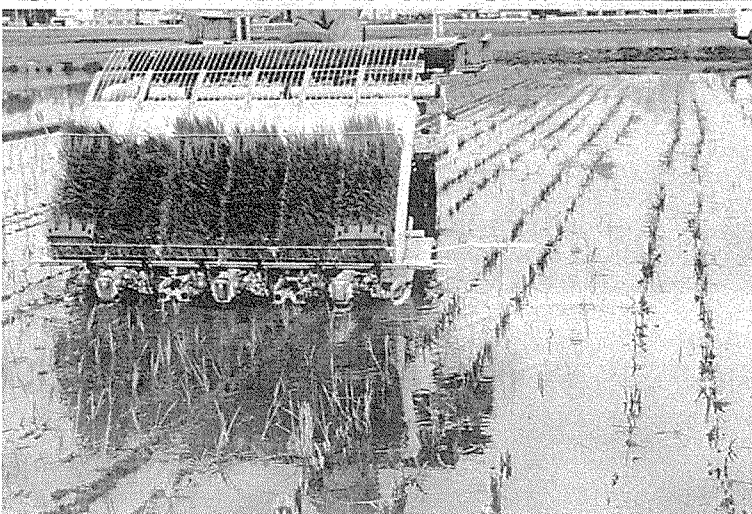
神奈川県相模川左岸土地改良区では、冬期の水利権を活用して、冬期湛水を行っています。

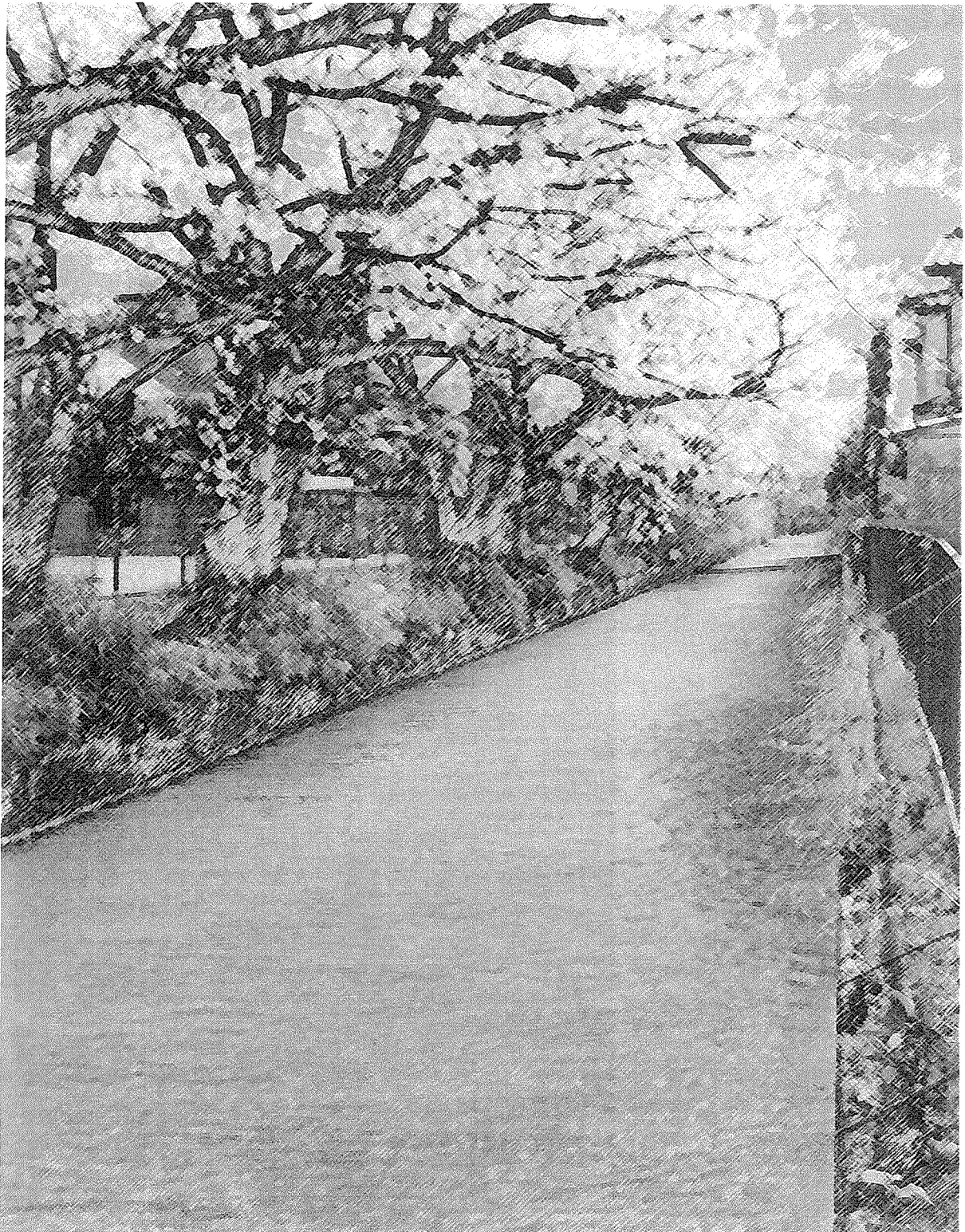


湛水田の凍結の様子



冬期湛水田で不耕起移植田植えを行いました。





神奈川県相模川左岸土地改良区

〒243-0422 海老名市中新田3-35-1

TEL 046-231-3247

FAX 046-235-1331

現況農用地無断転用状況

単位：筆数：筆
面積：㎡

	平成20年度						平成21年度					
	平成20年4月1日現在		新規		是正		平成21年4月1日現在		新規		是正	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田端	2	893	0	0	0	0	2	893	0	0	0	0
岡田	2	1,966	0	0	(分筆)	323	2	1,643	0	0	1	975
小谷	22	12,292	1	(分筆)	0	0	23	12,292	0	0	3	2,288
小動	1	255	0	0	0	0	1	255	0	0	1	255
宮山	29	18,756	0	0	3	990	26	17,766	0	0	3	1,812
倉見	5	2,496	0	0	0	0	5	2,496	0	0	0	0
合計	61	36,658	1	0	3	1,313	59	35,345	0	0	8	5,330

	平成22年度						平成23年度					
	平成22年4月1日現在		新規		是正		平成23年4月1日現在		新規		是正	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田端	2	893	0	0	0	0	2	893	0	0	0	0
岡田	1	668	0	0	0	0	1	668	0	0	1	668
小谷	20	10,004	0	0	3	1,952	17	8,052	0	0	1	926
小動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮山	23	15,954	1	311	1	508	23	15,757	0	0	3	1,140
倉見	5	2,496	0	0	1	396	4	2,100	0	0	0	0
合計	51	30,015	1	311	5	2,856	47	27,470	0	0	5	2,734

	平成24年度						平成25年度(7月22日現在)					
	平成24年4月1日現在		新規		是正		平成25年4月1日現在		新規		是正	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
田端	2	893	0	0	0	0	2	893	0	0	0	0
岡田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小谷	16	7,126	0	0	0	0	16	7,126	0	0	0	0
小動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮山	20	14,617	1	558	1	558	20	14,617	0	0	0	0
倉見	4	2,100	0	0	0	0	4	2,100	0	0	0	0
合計	42	24,736	1	558	1	558	42	24,736	0	0	0	0

平成24年度 農振農用地区域違反転用 調査一覧表 (筆順)

筆順No.	土地の所在	台帳地目	地積(m ²)	現況地目	通知用現況
1	田端	畑	684	資材置場他	資材置場
2	田端	田	209	資材置場他	資材置場、プレハブ等
3	小谷	田	354	資材置場他	駐車場
4	小谷	田	649	資材置場他	駐車場
5	小谷	畑	386	雑種地	駐車場
6	小谷	畑	230	資材置場他	駐車場
7	小谷	田	844	宅地	犬調教所ほか
8	小谷	田	164	宅地	廃材置場
9	小谷	田	144	資材置場他	資材、廃材置場
10	小谷	田	378	資材置場他	プレハブほか
11	小谷	田	195	資材置場他	プレハブほか
12	小谷	田	211	資材置場他	廃材(スクラップ)置場
13	小谷	田	446	資材置場他	廃材(スクラップ)置場
14	小谷	田	997	資材置場他	廃材(スクラップ)置場
15	小谷	畑	1,046	雑種地	駐車場
16	小谷	畑	427	資材置場他	自動車部品置場、作業所ほか
17	小谷	畑	895	資材置場他	自動車部品置場、作業所
18	小谷	畑	283	畑	プレハブ倉庫
19	宮山	田	1,080	資材置場他	駐車場、廃材置場
20	宮山	田	311	田	駐車場
21	宮山	畑	1,238	一部(750m ²)資材置場他	駐車場
22	宮山	畑	3,041	一部(260m ²)資材置場他	一部駐車場
23	宮山	畑	1,299	資材置場他	資材置場
24	宮山	畑	1,427	一部(390m ²)宅地	駐車場、事務所等
25	宮山	田	952	資材置場他	駐車場
26	宮山	田	487	資材置場他	駐車場
27	宮山	田	317	資材置場他	駐車場
28	宮山	田	214	資材置場他	物置等
29	宮山	畑	350	資材置場他	資材、廃材置場
30	宮山	田	578	資材置場他	駐車場
31	宮山	田	570	資材置場他	プレハブほか
32	宮山	田	501	資材置場他	プレハブ、資材置場ほか
33	宮山	田	287	資材置場他	残土置場ほか
34	宮山	田	54	資材置場他	資材、廃材置場ほか
35	宮山	田	558	資材置場他	資材、廃材置場
36	宮山	田	297	田	プレハブ、資材、廃材置場
37	宮山	田	164	田	残土置場ほか
38	宮山	畑	892	資材置場他	作業所、駐車場ほか
39	倉見	田	710	資材置場他	駐車場
40	倉見	畑	452	資材置場他	駐車場
41	倉見	田	677	資材置場他	駐車場
42	倉見	畑	261	資材置場他	駐車場